

(テーマ名) 車いすビジュアルシミュレータ WVS

(シーズ概要)

車いす利用者に対する健常者の理解を深めることを目的として、車いすでの行動を仮想空間内で視覚的に体験できるシステムの構築を行っている。本システムでは、体験者はヘッドマウントディスプレイ (HMD) を頭部に装着し、ジョイスティックや、センサを付けた手動式車いすにより仮想空間内の車いすを操作する。HMD 付属のジャイロの角度情報から体験者の視線情報を求め、PC を用いて実時間で仮想空間の画像を生成し、HMD のディスプレイに表示する。これまでに構築した仮想空間モデルは、寝屋川市駅と、本学四條畷学舎の福祉工学実習室(ユニバーサルデザインを考慮した住宅、右図)の2種類である。



(研究成果の産業への展開例)

- ・ 設計段階の施設や設備を2次元の図面上だけでなく3次元的にも確認できる。
- ・ 車いす利用者用の住宅における家具の配置確認などが行える。

研究者データ

■氏名：河合 利幸 (かわい としゆき)	■キーワード： コンピュータグラフィックス，バーチャルリアリティ，3次元モデル
■大学：大阪電気通信大学	
■学部：情報通信工学部	■メッセージ：
■専攻・学科：情報工学科	
■職制：准教授	
■E-mail：kawai@kwlab.osakac.ac.jp	
■URL：http://www.osakac.ac.jp/labs/kawai/	

産学官連絡窓口

■大阪電気通信大学 研究支援室	
■住所：〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号	
■TEL：072-824-1131 (代)、072-820-3827 (直)	■FAX：072-820-9012
■E-mail：ken-shien@isc.osakac.ac.jp	
■URL：http://www.osakac.ac.jp/	